

山形県遊佐町における太陽光発電事業の概要

遊佐町での太陽光発電事業は、生活クラブとその提携先である地域の生産者が力を合わせ、再生可能エネルギーの創出を通じて地域づくりに貢献しようと、2015年3月から実現化への調査が進められてきました。

地域の自然資源を活かし、生み出された電気を地元で消費するだけでなく、事業開発のプロセスにもおおぜいの人がかかわるスキームを用意することで地域がより元気になり、エネルギーと経済（お金）の地域循環が生まれることをめざしています。

太陽光発電所は、2019年3月に完成を迎えます。



- 事業名称 : 庄内・遊佐太陽光発電事業
- 事業主体 : 株式会社 庄内自然エネルギー発電（2016年10月設立のSPC）
- 事業地域 : 山形県飽海郡遊佐町吉出地区ほか
- 事業期間 : 2019年から20年間（固定価格買取制度に基づく買取期間に同じ）
- 施設名称 : 庄内・遊佐太陽光発電所
- 建設用地 : 発電所サイト面積約31ha

太陽電池 : 容量約 18MW (太陽光パネル×66,440 枚)
発 電 量 : 年間約 18,000MWh (約 5,700 世帯×260kWh/世帯/月)
CO₂ 削減 : 年間約 9,200 t -CO₂ (排出量換算値 : 0.512kg-CO₂ /kWh)
売 電 先 : 株式会社生活クラブエナジー、東北電力株式会社
設備認定 : 2014 年 3 月取得 (FIT 単価 : 36.00 円/kWh)
運転開始 : 2019 年 2 月予定
竣工予定 : 2019 年 3 月 (調整運転期間を含む)
建 設 費 : 約 50 億円 (開発費+工事費+工事予備費)



庄内・遊佐太陽光発電事業は、事業期間を通じた庄内の地域づくりへの取組みとして以下をテーマにしています。

- ・ 庄内*FEC 自給ネットワークづくりと連携
- ・ 遊佐町 & 生活クラブ「遊佐共同宣言」に賛同
- ・ 酒田市の庄内福祉コミュニティ構想等に賛同
- ・ 地域の食料生産の振興と福祉活動に連携
- ・ 地域の郷土史、民衆文化・芸能等の保存継承に賛同
- ・ 建設資金に市民出資を得て、事業利益は広く分配

*「FEC 自給ネットワーク」～ Food (食)・Energy (エネルギー)・Care (福祉)
は、人々が豊かに暮らしていくためにぜったい欠かせない生活要素といえます。
これらを市民自らの手でそろって自給、循環可能なしくみとして育てていく共生社会をイメージしています。